

令和3年度6月補正事業説明資料

(農政水産部)

事業名	肉用牛肥育経営体質強化緊急対策事業	新規・改善・既定	課名	畜産振興課
		国庫・県単		

1 事業の目的・背景

コロナ禍の中、厳しい経営環境にある肉用牛肥育経営の体質強化を図るため、経営改善や事故防止による生産性向上の取組や価格安定制度への継続的な加入を促進する。

2 事業の概要

(1) 予算額 53,800千円

(2) 財源 国庫：53,800千円

(3) 事業期間 令和3年度

(4) 事業主体 公益社団法人 宮崎県畜産協会

(5) 事業内容

○ 肉用牛肥育経営体質強化緊急対策事業（県定額） 53,800千円

体質強化に資する取組を実践する肥育経営を支援

3 事業効果

肉用牛肥育経営の体質強化を図り、あらゆる危機事象に負けない、将来にわたって競争力のある肉用牛産地を確立する。

肉用牛肥育経営体質強化緊急対策事業

【コロナ禍における肉用牛肥育経営を取り巻く情勢】

- 度重なる緊急事態宣言の発令による外食需要の減少等が枝肉価格に大きく影響し、今後の枝肉相場の動向が不透明
- 生産コストの約9割を占める子牛価格と飼料価格の高止まりが経営を圧迫
- 価格安定制度である牛マルキンは断続的に発動しており、令和3年6月からは生産者負担金の納付が再開

課題

コロナ禍を生き抜く強い経営体を育成するためには、価格安定制度の継続的な加入はもとより、肥育経営の体質強化に資する経営改善計画を自ら策定し、実践していくことが必要。

事業内容

牛マルキン制度に加入する肥育経営が、経営改善計画に基づき、緊急的に経営の体質強化の取組を実践する場合に支援。（定額）1,000円/頭

体質強化の取組

① 飼料効率の改善

② 長期肥育の抑制

③ 血液分析による事故防止

④ 除角による事故防止

⑤ 削蹄による疾病防止

⑥ 伝染性疾病の伝播防止

⑦ 畜舎環境の改善

⑧ 経営の改善

事業効果

肥育経営の体質強化により危機事象に負けない肉用牛産地を確立